

まちぴとインタビュー 議会にあなたの声を



阿見町社会福祉協議会ふれあい・いきいきサロン登録団体
『自然保育 自由に遊び隊』代表 平岡典子さん（一番左）

自然保育 自由に遊び隊

ワンオペ育児をされている方をサポートするために
子育て真っ最中のママ達が立ち上げた自主保育的な
ボランティア活動をしている団体にお邪魔しました。
写真は団体会員の方と島津梅林で梅もぎ活動をされ
ているところです。

審議結果

2ページ

28の議案等を承認・可決・同意

一般質問

9ページ

11人の議員、町政を問う

委員会活動

15ページ

常任委員会・特別委員会で町内・先進地を視察・研修

議会活動

18ページ

富山県朝日町議会が来庁

まちぴとインタビュー

20ページ

議会にあなたの声を

(仮称) 子育て支援総合センター建設工事請負契約について

反対
します

栗原 宣行 議員

以下の理由から反対する。

まず、積算見積りの適正性について。ZEB化*のため実勢価格に見直した事が増額との説明だが、設計されている太陽光パネルの枚数では、ZEB認証の取得に必要な発電量は確保されない。また、屋内遊具は、らせん階段を2周させる特殊遊具のため、限られた業者しか対応できない点を踏まえヒアリングをしたとの説明だが、限られた業者しか対応できないのであれば、そもそも設計に入れること自体が問題だ。公共工事は、積算の透明性と客観性が極めて重要であり、特殊遊具を設置する客観性は低く、適正ではない積算に基づく増額は町民の理解は得られない。

次に、必要性について。視察した鹿嶋市地域子育て支援センターの延床面積は、約 1,000㎡で建設費は 4 億 8,400 万円。本郷小学校区放課後児童クラブは、797.26㎡で建設費用は 4 億 5,870 万円とどちらも 4 億円台で建設している。今回、1,341.94㎡、建設費が 9 億 5,700 万円と高額であり、既存施設の活用や段階的な改修も選択肢として検討すべき。

最後に、財政規律の観点から。建設費の増額に対する多角的な検討がなされていない。鹿嶋市は建設費の回収のため、鹿嶋市地域子育て支援センターのネーミングライツを実施している。建設費の増額は町民の税負担を重くし、将来的な財政運営にも影響を及ぼす。1 億 6,000 万円増の 9 億 5,700 万円で建設するのではなく、当初、議会が承認した 7 億 9,700 万 5,000 円で建設できる規模、仕様に見直すべきで、入札制度の改善と積算の適正性、既存施設の有効活用など、より慎重で合理的な配慮が求められている。

※ ZEB (ゼブ) とは、Net Zero Energy Building (ネット・ゼロ・エネルギー・ビル) の略で、省エネによって消費エネルギーを減らし、創エネによって使う分のエネルギーをつくることで、「エネルギー収支ゼロ」を目指す建物です。国は、2050 年までに温室効果ガスの排出を全体としてゼロにする (カーボンニュートラル) 脱炭素社会の実現を目指しており、地方自治体でも ZEB 対応が求められています。

討
論

可
決

武井 浩 議員



我が国の人口は減少している中、阿見町の人口は増えている。特に子供の人口が増えている中で、子育て中の保護者の方々の孤立感や不安感の増大といったものも併せて生じている。そういった問題を解決する手段として、子育て世代の交流の場となる施設として、大規模な遊具を設置してただけということで、非常に楽みな施設である。子育て世代への支援という観点から、この施設の必要性は高まっている。このような事情に鑑み、私は本案に対して賛成する。

賛
成
します

石引 大介 議員



子育て支援総合センターの建設は、子ども達が天候に左右されず安心して遊べる場や、子育て世代が情報交換や多様な交流を図る機会を提供することで、子育て環境の充実を図ることを目的に計画された。子育て世代に阿見町を選んでもらうことは、人口を維持していく上でも重要であり、子育て世代が増えれば企業の参入なども考えられ、将来的に阿見町にとって街の賑わい、さらに安定した税収を得ることも期待できるのではないかな。

この子育て支援総合センターの建設は、阿見町の将来への重要な投資であり、進めるべきであると判断し、賛成する。

賛
成
します



色がついている議案は、質疑または討論を掲載している議案です。

令和 7 年第 2 回臨時会

令和 7 年 5 月 27 日



全議員が賛成した議案等

専決処分の承認を求めることについて (阿見町税条例の一部改正について)

令和 7 年度税制改正による法改正を受け、特定親族特別控除創設などの法改正の内容を阿見町税条例に反映させるために行った専決処分の承認を求めるもの

専決処分の承認を求めることについて (阿見町都市計画税条例の一部改正について)

令和 7 年度税制改正による法改正を受け、条例で引用する地方税法の条文にずれが生じたものを改めるために行った専決処分の承認を求めるもの

専決処分の承認を求めることについて (阿見町国民健康保険税条例の一部改正について)

令和 7 年度税制改正による政令改正を受け、国民健康保険税の基礎課税額の課税限度額を 1 万円、後期高齢者支援金等課税額の限度額を 2 万円引き上げるなどの法改正の内容を阿見町国民健康保険税条例に反映させるために行った専決処分の承認を求めるもの

専決処分の承認を求めることについて (損害賠償の額を定めることについて)

連日の雨の影響により町道が陥没したことで生じた走行車両のタイヤのパンク等の損傷について、損害賠償の額を定めるために行った専決処分の承認を求めるもの

阿見町議会傍聴規則の一部改正について

議会の本会議等の傍聴について定めた規則について、傍聴人の守るべき事項などを現在の社会情勢に合わせるとともに、車いす使用者をはじめとした傍聴席に入ることが難しい方が希望する場合に、議長の許可のもと、議場の所定の場所での傍聴を可能とするなどの改正を行うもの

賛否が分かれた議案等

議案名	議決結果	賛否数	議員名																	
		賛成	野口雅弘	寛田聡	前田一輝	小川秀和	紙井和美	武井浩	武藤次男	佐々木芳江	落合剛	栗田敏昌	石引大介	高野好央	栗原宣行	海野隆	久保谷充	久保谷実	吉田憲市	細田正幸
		反対																		
(仮称) 子育て支援総合センター建設 工事請負契約について※ 1 P3 参照	可決	14																		
		3		○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	×	×	○	○	○	○	○

阿見町では転入等による子育て世帯の増加が見込まれることから、子育て世帯の交流の場となる施設として、また子育てについての悩みの身近な相談機関として、こども家庭センターと連携した一体的な支援を行うため、(仮称) 子育て支援総合センターを建設する工事を行うもの。契約金額 9 億 5,700 万円 (予定価格 5,000 万円以上の工事請負契約は議会の議決が必要)

※議長 (野口雅弘議員) は、賛否同数のとき以外は表決に加わりません。

※「○」は賛成、「×」は反対、「-」は欠席を表します。

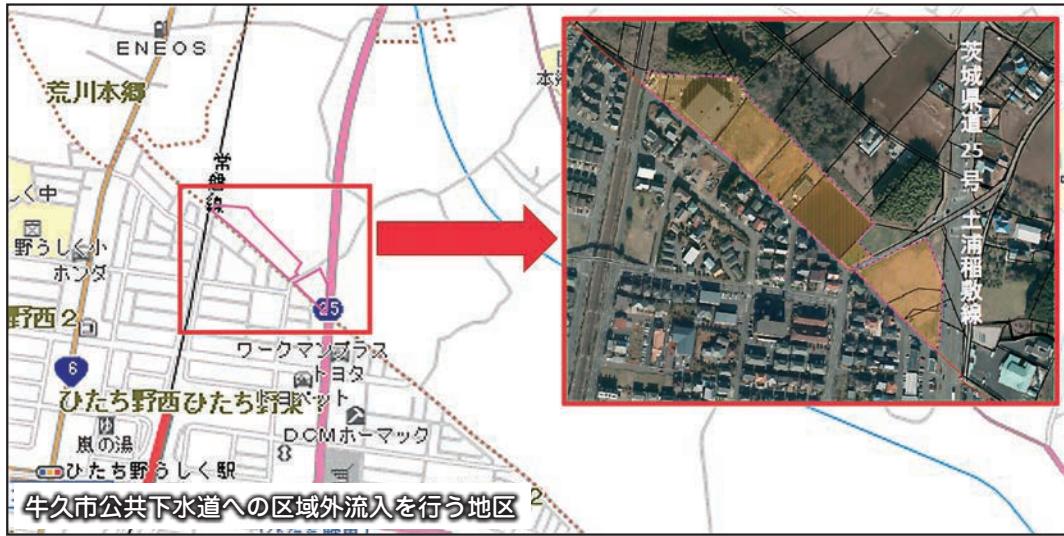
阿見町下水道条例の一部改正について

問 公共下水道の区域外流入に至った経緯は。

答 以前より地権者から区域外接続の要望があり、牛久市と協議を進めていたが、令和6年度に新たに開発行為を計画している事業者から区域外接続の要望があった。近年の国や県などの広域化推進の流れを受け、今般、牛久市との区域外流入の協議が整った。

問 牛久市以外の隣接しているところで他に希望している地区はあるのか。

答 平成27年度より、土浦市との行政区にある住吉地区やうずら野地区などにおいて、公共下水道の相互間利用というものを行っている。



損害賠償の額を定めることについて

問 道路が陥没してから、自動車の損傷に至った経過は。

答 事故当日の4月2日午前9時半にパトロールした際には、道路の破損状況は確認できていなかったが、午後6時過ぎに「大形地内の道路を走行中、陥没箇所にてタイヤを落としパンク事故が起きた」との連絡があり、その後、2件目の相手方より同様の連絡を受けた。現場の陥没穴は、長さ60センチ、幅30センチ、深さ7センチ程度で1か所。

問 今後どのような対策を講じるのか。

答 引き続き週3回、町道のパトロールを実施し、修繕が必要な町道については計画的な修繕を実施し、警察と連携しながら交通安全対策を検討し、安全運転を促していく。



財産の取得（消防団第8分団消防ポンプ自動車購入）について

問 1トンベース車を導入するきっかけが、改正道路交通法が変わったということで導入が続いているが、免許の取得で問題が出た場合、町はどういうふうに対応していくのか。

答 今現在3.5トン未満のポンプ自動車を導入しているが、まず3.5トン未満にするか、3.5トン以上にするかを分団と協議し、今回は3.5トン未満がいいということで導入した。今後、分団が3.5トン以上のポンプ自動車を導入したい場合に、免許がない方がいる際は消防団員準中型自動車免許取得費補助金を使ってもらい、準中型免許を取っていただいて3.5トン以上を運転していただくような方向で考えている。



更新する消防車と同型の車両

総合運動公園B球場照明灯改修工事請負契約について

問 交換することによりランニングコストはどの程度下がるか。寿命はどの程度違うか。また利用料金の変更はあるか。

答 メーカーのカタログでは、水銀灯からLED灯へ変更することにより消費電力は約70%程度減となり電気料金も安くなる。寿命は4倍から10倍の長寿命とされている。利用料金の変更は考えていない。

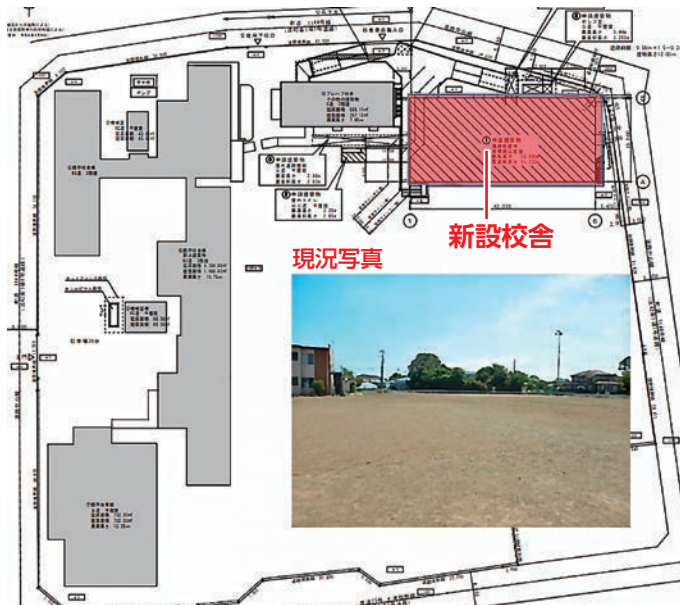


総合運動公園B球場照明

本郷小学校校舎増築工事請負契約について

問 2階・3階の窓が大きい。転落防止対策はどのようになっているか。ベランダはないのか。水飲み場も確保されているか。

答 ベランダは設置していない。転落防止策として、長さ3メートルのステンレス手摺を床から1.2メートルの高さに設置する。水飲み場は、1階に2か所、2階に3か所、3階に3か所設置する。



本郷小学校増築工事図面

令和7年
第2回定例会

阿見町教育委員会委員の任命につき同意を求めることについて

教育委員会委員決まる

任期満了に伴い、議会の同意により次の方が教育委員会委員に決まりました。
任期：令和7年6月6日～令和11年6月5日（4年）

石田 貴也（いしだ たかや） 阿見町本郷 47歳

※年齢は令和7年4月1日現在

令和7年
第2回定例会

阿見町固定資産評価審査委員会委員の選任につき同意を求めることについて

固定資産評価審査委員会委員決まる

任期満了に伴い、議会の同意により次の方が固定資産評価審査委員会委員に決まりました。
任期：令和7年6月24日～令和10年6月23日（3年）

渡會 光恵（わたらい みつえ） 阿見町南平台 56歳

加藤 怜（かとう さとし） 稲敷市幸田 43歳

豊嶋 郁夫（とよしま いくお） 水戸市千波町 62歳

※年齢は令和7年4月1日現在

11人の議員 町政を問う！ 一般質問

一般質問は、議員が町政全般に対して現状の確認や方針を問うものです。
掲載している内容は、質問者の確認のもと要約し、議会だより編集委員会が
校正したものを掲載しています。

議会
傍聴手続きは簡単
ぜひ傍聴してみてください

議会の傍聴を希望される方は、会議の当日に
役場3階議会事務局までお越しください。

- ①傍聴受付証の交付を受けてください
- ②傍聴受付証は先着順にお渡しします
- ③傍聴席数は次の通りです
本会議 30席・委員会 9席・全員協議会 7席

動画
視聴

動画でご覧いただけます

議会の様子の録画を下記から公開しています。
【YouTube チャンネル『茨城県阿見町議会』】
※ QRコードを読み込んで視聴できます。
※チャンネル登録をすると、動画が
配信された時に通知が届くように
できるなど視聴しやすくなります。



高野 好央 議員



町益の為に埋蔵文化財包蔵地
指定区域を見直すべきではないか



問 平成10年9月29日付文化庁次長
通知の内容は把握しているか。

答 埋蔵文化財の保護と開発事業と
の適切な調整等について示したも
のと認識している。

問 遺跡台帳などには地表からの遺
物採取等の分布調査・試掘・確認
調査等の、時期や箇所が図示され
るなど埋蔵文化財包蔵地指定の根
拠が明確に示されていないければな
らないがどうか。

答 「埋蔵文化財包蔵地カード」、「遺
跡地図」、「統合型GIS」により
情報を管理しており、既往の調査
結果について随時更新を行っている。

問 官民合わせた法に基づく申請が
令和4年度は81件、うち試掘調査
43件。令和5年度は99件、うち試
掘調査39件。令和6年度は81件、
うち試掘調査48件だが、埋蔵文化
財に該当した件数は。

答 令和4・5年度は0件。令和6年
度は2件。



▲埋蔵文化財包蔵地（緑色の範囲）の位置図

問 埋蔵文化財は地中に存在する為、
把握が難しいのは理解するが、こ
れだと信憑性に欠けると思うがど
うか。

答 法に基づく申請の中には、埋蔵
文化財が確認されたが本発掘調査
の実施に至らなかった場合や、試
掘調査に至らない規模の工事申請
も含まれている。文化財保護の趣
旨に基づき、本発掘調査をせずと
も保護が果たせる場合には、優先
して調査以外の保護を行っている。

武井浩 議員



防犯・火事・交通安全対策について



問 町民一人ひとりの防犯意識を高める施策について。

答 防犯キャンペーン、青色防犯パトロール車による巡回を実施している。

問 阿見町防犯灯設置要綱は、既設防犯灯までの距離が概ね40メートル以上となっているが、住宅密集地や通学路は要件を緩和して必要な場所に防犯灯が設置できるようにしたらどうか。

答 犯罪発生状況など特別な事情が考えられる場合は、要件の緩和を検討したい。

問 火災に備えた取り組みで有効なもの。

答 有効な手段として住宅用火災警報器があり、高齢者や障害者世帯への設置について検討していく。

問 県警のハンドサイン運動に関する町の対応は。

答 交通安全教室、キャンペーン、ホームページなどでハンドサイン運動を推進している。

問 自転車用ヘルメット補助金をスマホで申請できるようにしたらどうか。

答 早期の導入に向け検討する。



▲交通安全キャンペーン

女性支援新法の取り組みについて

問 困難な問題を抱える女性への支援に関する法律が施行されたが、女性相談支援員を設置する考えはあるか。

答 女性相談支援員の配置に向けて検討を重ねていく。

問 基本計画の策定は。

答 次期男女共同参画プランの改定時に、女性支援新法の基本理念を考慮した計画の策定を検討する。

【その他の質問項目】
○英語教育とプログラミング教育の充実について

佐々木芳江 議員



要介護（要支援）認定について



問 要介護認定調査申請の総数は、令和4年度と令和5年度を比較して197件の差があるがなぜか。

答 令和元年度末より令和4年度まで「新型コロナウイルス感染症に係る要介護認定の臨時的な扱い」として206件の要介護認定の有効期間を延長しているため、申請件数が少なくなっている。

問 206件の延長は、誰が判断するのか。また、延長することによって問題はなかったか。

答 本人、家族、ケアマネジャーの判断によるもので、延長したことによって問題は生じていない。

問 認定調査の現状について、認定調査員は常勤換算で何人いるか、また、調査員一人当たり年間件数は。

答 5人の調査員がいるが、常勤換算すると3人になる。令和6年度の調査員一人当たり年間調査件数は、およそ360件である。

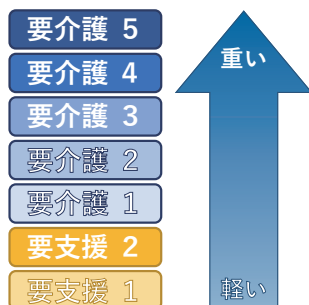
問 簡素化を満たす対象者は、全体の10％～20％とのことだが、簡素

化を実施している市町村の事例は。

答 福岡県大川市がコロナ禍の有効期間の12か月延長の影響により、令和5年度の審査対象者が増え、簡素化を導入したとのこと。しかし介護認定調査等は通常通り行うため、コスト削減には繋がらず、申請から認定までの日数の短縮にはならなかったとのこと。

問 当町では、簡素化はデメリットが多く現在実施していないとのことだが、効率化によっては、時間削減は可能ではないか。

答 認定調査へのタブレット導入や介護認定審査会のペーパーレス化等、DXを進めることによって効率化を図っていききたい。



▲要介護（要支援）認定の区分

紙井和美 議員



スマート技術導入で安全な水の環境整備を



問 当町の配水インフラの老朽化状況と今後の計画は。

答 昨年度末時点の配水管総延長約406kmの内、40年の法定耐用年数を超えている管路の延長は約25kmで割合は6%。今後の計画は、今年度に青宿・新町地区1.6kmを更新し、令和8年度以降に、中央・上郷・二区北・二区南等を順次更新する予定。

問 IoTセンサーの導入はどうか。

答 スマートメーター導入による検針作業の効率化やAI解析に基づく管路の危険度判定を活用することで、省力化を図ることは重要なため、今後県企業局との経営統合に向けた協議の中で、新技術活用について検討したい。

給に関しては、体調管理の面から、いつでも自由に行えるように家庭から水筒を持参している。

問 水筒持参は重くかさばる。各自の小さな水筒やコップに学校でおいしい水を供給するために水道管直結型のウォーターサーバーを設置してはどうか。かすみがうら市や小美玉市のように企業と連携協定を結べば、設置費用も大きく軽減され、教員の負担もない。産学官民連携とSDGsの観点から、ぜひ導入を検討してはどうか。

答 全校に設置した取手市に確認したところ、各学校から好評を得ていると伺っている。今後、当町の小中学校の意見も確認しながら、調査・検討を進めたい。



▲ウォーターサーバー

武藤次男 議員



阿見町の東部地域（竹来中学校区）の今後について



問 東部地域が選ばれる対策は。

答 阿見町都市計画マスタープランでは、計画的な町づくりの方策を示している。東部地域は、東南部地域の地域づくり構想において、阿見吉原地区と3工業団地に生産・流通機能の集積を図り、阿見吉原地区では良好な市街地環境の形成を推進、市街地調整区域では南平台市街地の市街化区域編入を検討、既存集落については区域指定制度を導入し集落の維持、活性化を図り、東部地域が持続可能な地域となるよう検討していく。

問 公共交通の運行状況と対策は。

答 当町の主要な公共交通は路線バスである。東部地域でも霞ヶ浦線、君島線、あみプレミアム・アウトレット線が運行中だが、廃止や減便もあり空白地帯が目立つ状況である。そのため、阿見町では「あみまるくん」を運行し移動手段として提供中である。今後利便性向上に向け乗合率の向上、運行日の

拡大を検討する。

問 免許返納者が訪問可能な商業施設の現状と対策は。

答 これまで東南部地域の大きな商業施設は、あみプレミアム・アウトレットのみであったが、今年4月に「カスミ阿見よしわら店」が開業し同地区の利便性は向上した。しかしその他の地域は大きな商業施設の立地がなく、日常的に不便。この支援策として「あみまるくん」の運行や、株式会社カスミと連携し移動スーパー販売を実施している。今後「あみまるくん」の利便性向上に取り組み、免許返納者でも不自由しない環境を整備していく。

平日		土・日・祝	
上郷駅西口	南平台	上郷駅西口	南平台
7:00	7:10		
7:30	7:40		
8:00	8:10		
8:30	8:40		
9:00	9:10		
9:30	9:40		
10:00	10:10		
10:30	10:40		
11:00	11:10		
11:30	11:40		
12:00	12:10		
12:30	12:40		
13:00	13:10		
13:30	13:40		
14:00	14:10		
14:30	14:40		
15:00	15:10		
15:30	15:40		
16:00	16:10		
16:30	16:40		
17:00	17:10		
17:30	17:40		
18:00	18:10		
18:30	18:40		
19:00	19:10		
19:30	19:40		
20:00	20:10		
20:30	20:40		
21:00	21:10		
21:30	21:40		
22:00	22:10		
22:30	22:40		
23:00	23:10		
23:30	23:40		
24:00	24:10		

▲南平台東バス停の時刻表（平日5便、土日祝なし）

久保谷 実議員



阿見町の鳥獣被害の現状と これからの対策について



問 町民が鳥獣被害を発見した時にどのように対応すればよいのか。

答 イノシシ、キョンを発見した際には、速やかに町への情報提供をお願いしている。

アライグマを捕獲した際には、町職員が回収し、県による殺処分により対応している。その他、タヌキやハクビシンなどの動物は、捕獲した各自において対応をお願いしている。

問 現在の対応策は。

答 アライグマ等については、捕獲用箱罠の貸出しにより被害の防止を図っている。

また、カモ対策としては、猟友会と業務委託を締結し、積極的に駆除を実施している。

問 町が所有している箱罠の数と現在の貸出している数は。

答 中型用獣類の箱罠が41基、イノシシ用が5基あり、現在の貸出し数は中型が31基、イノシシ用は0基。

問 カモ類、バン類の被害も多く、



▲ 捕獲されたアライグマ

特にバン類は有害鳥獣に指定をされていないため捕獲できない。バン類も有害鳥獣に指定すべきでは。

答 被害を調査して、県に要望する。

問 県では有効対策として、近づけない、侵入させない、捕獲することとが大切で、具体的には電気柵、ワイヤメッシュが有効な手段であるとのことだが、町の考えは。

答 町では被害防止策に補助をしていないが、近隣の市町村では補助をしているところもある。町でも検討をしていきたい。

小川 秀和議員



小中学校体育館等への 空調整備の計画について



問 大規模災害時、協定を結んでい

る他自治体の被災者受け入れ施設

はどこか。また受け入れ人数は。

答 3種類の協定を結んでいるが、原子力災害を想定した場合、町内指定避難所(小中学校や各公民館)20か所で5100人を想定している。

問 協定を結ぶ中で被災者の生活環境への取り決めはあるか。

答 協定を結んだ相手は異なるので支援内容は統一されてはいないが、総合的に支援していく内容になっている。避難所において生活環境悪化により災害関連死が発生していることから、生活環境を保つことが重要であると捉える。

問 WBG Tセンサー指数が高いことで、授業や部活への弊害はあるか。

答 屋外、屋内でも授業の内容変更や短縮、部活動でも十分な活動が出来ず、教育活動に様々な制限がかかっている。

問 授業の内容変更や短縮で授業の時間数は確保できているか。

答 座学や授業内容の時期の入れ替えをして時間数は確保できている。

問 夏場の授業や部活動で、教職員や児童生徒からの要望はあるか。

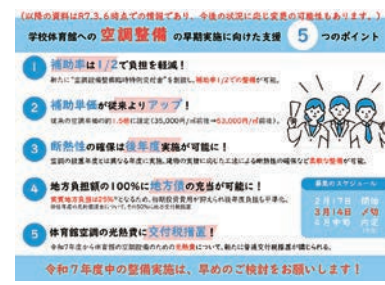
答 授業や部活以外にも常に熱中症対策を意識している。空調設置を求める声が聞かれている。

問 政府は学校体育館への空調整備を加速するための助成制度を新設した。これを活用し、町の3か年実施計画の中に入れて頂きたい。

答 学校体育館への空調整備は必要性の高い事業であると認識する一方、財政負担も大きい。優先順位を踏まえ、3か年実施計画による

総合的な調整が必要だ。予算化に向けては企画、財政部門と調整を進めていく。

▲ 出典：文部科学省ホームページ



石引 大介議員



小規模特認校(君原小学校)の 今後の展望について



問 特認校制度を利用して通学している児童の推移は。

答 令和7年5月現在で17名の児童が特認校制度を利用している。全校児童の27・9%である。

問 今後、どのような小規模特認校を目指していくのか。

答 ポニーの乗馬体験、県立医療大学の協力による科学体験教室、学校サポーターによるゲストティーチャー授業、専属ALTの配置など多様な活動を通し、児童一人一人へのきめ細やかな指導を継続していく。

問 専属のALTとは具体的にどのような事か。

答 外国語授業を行っているALTを週5日専属で配置して、1年生から日常的に外国語に触れる事が出来る体制とし、君原小学校の特色の一つとしている。

問 今後、新たに取り入れようとしている取組みはあるか。

答 ICTを活用して「マインクラブ



▲ 君原小学校

※プログラミング教育の例としては、「未来の阿見町を想像してみよう」というテーマで立体的に街づくりをイメージする授業を実施している。

ト」というまちづくりのゲームソフトを使ったプログラミング教育※を取り入れたり、「AIスマートコート」というアプリを体育の授業で活用する計画や、県立近代美術館から絵画の複製画を借用して校内に飾るなど、子どもたちの豊かな感性を磨く取組みも進めている。

問 今後、送迎支援の体制を検討できないか。

答 保護者の方々の意向を確認しながら、見学会の時にアンケートを実施することも含めて検討していく。

海野 隆議員



投票率向上を図るべきだ



問 阿見町の投票率は県平均より低い。令和6年3月に実施された議員選挙でも、令和2年から5%低下し42・78%だった。7月に参議院選挙、9月に知事選挙、来年2月には町長選挙が行われる。投票率向上のため大学キャンパスや東京医大病院、JR荒川沖駅前等に移動期日前投票所を導入してはどうか。

答 これまでに、新たな期日前投票所の設置、期日前投票者へのデマンドタクシー往復利用料助成、投票所の増設、学校では議会見学を実施してきた。今年度は移動期日前投票所を導入し、中学校での議員カフェに参加予定である。

ごみ処理行政について

問 「茨城県ごみ処理広域化ブロック6会議」における協議内容と阿見町の意向表明については。

答 これまでに6回の会議を行い、ごみ処理施設を4施設から1施設に集約する方法・場所、収集運搬、

中継施設を設けるか等の課題を協議している。費用負担については、ブロックの市町村が一つの地域として「経費については平等で、不公平にならないように」主張し、合意形成を図っている。

問 阿見町は一人当たりごみ排出量がブロック内で最も多い。低減のためにごみ分別を細分化して資源化を進める必要があるのではないか。

答 新たな分別回収を行い資源化を進めるためには専用ヤードを新設する必要があるが、スペースがない。町としては雑紙の回収や食品ロスを削減する等の対策で町民意識の向上を図りたい。



▲ 阿見町のごみ処理施設(霞クリーンセンター)

栗原 宜行 議員



入札不調時の対応は適正か



問 入札不調時の対応は、予定価格を増額する、中止する、仕様を見直し予定価格内で実施する、の3つが考えられるが、なぜ大幅な増額にしたのか。

答 国の大きな補助金をもらう事になっていて、内容を大きく変更する事ができないため増額した。

問 建設検討委員会ではどのような協議がなされたのか。やめようとか変更しようという意見はなかったのか。

答 意見はなかった。

問 なぜ鹿嶋市や本郷小学校区放課後児童クラブのように4億円台で造ろうとしなかったのか。

答 鹿嶋市の建物はZEB対応※になっていない。また、大型室内遊具もない。

問 アンケートにより大型遊具を設置したとの事だが、議会に提出された資料には記載がない。

答 アンケートでの意見を受け、他自治体を視察し、全国的に採用事

例もある遊具を選定した。

問 遊具が5億円もかかるのか。そうでなければ、その内容は何か。

答 今年度になっての労務単価の改定や材料費の高騰から上がった。

問 乳幼児や児童一人当たりの基準スペースは何㎡と考えているか。

答 アクティブスペース付近の合計で400㎡だ。

問 建築費用が高額になったのは鉄骨にしたから。

答 木造でZEB化は出来ないのか。

問 木造のZEB化は可能だが、よ



▲（仮称）子育て支援総合センター外観図

りコストがかかる。

※ZEBについては、P3の注釈を参照してください。

【その他の質問項目】

○町の補助行政は公平に適切に行われているか

細田 正幸 議員



道の駅予定跡地（追原町有地）の利用について



問 道の駅予定跡地（追原町有地）はそのままになっているが、島津梅林の誘導梅林として一体的に開発したらどうか。

答 追原町有地については、令和3年7月に、道の駅整備事業を中止する決定をした。また、令和4年度は県協議や調整を行い、令和5年度に庁内で跡地利用検討委員会を立ち上げ、検討を進めてきた。今後はサウンディング調査※を行う方針となっている。

問 島津梅林については、耕作放棄地の再生と地域農業の活性化を目的に、平成25年に設立された法人が運営しており、現在、約3ヘクタールの圃場で、もぎ取り体験のほか、梅酒「華梅」の原料や加工品の販売などの6次産業にも積極的に取り組んでいる。追原町有地については、跡地利用検討委員会の方針に基づき、引き続き調査、検討を進めていく。

問 追原町有地の面積と買取価格は、

また買取から何年経過しているのか。

答 取得面積は23,201㎡、価格は157,668,455円、H29年度に購入した。

問 梅林にすれば最低限の開発費で済むのではないか。

答 町益につながる土地利用を考えなければならぬ。サウンディング調査をして幅広く可能性を探っていく。



▲道の駅予定跡地（追原町有地）の様子

※サウンディング調査とは、町が所有する土地や施設の活用方法について、民間の事業者から広くアイデアや意見を聞くために行うもの。

常任委員会・特別委員会
委員会活動

Until July 2025

各議員が専門的な委員会に分かれて、議案や請願・陳情などの審査、視察や研修を行う各常任委員会や特別委員会の活動をご報告します。

委員会の仕組みについては下記をご参照ください。
<https://www.town.ami.lg.jp/0000000990.html>



議員の仕事は会議だけじゃない！
現場も大事なんだ！

総務常任委員会

NPO 法人マリッジクラブの視察を実施

令和7年6月6日 阿見町内

令和7年度の委員会活動計画に基づく調査事項「行政のより良い仕組みについて」の一環として、婚活力向上事業についての調査を行うため、町からの委託を受けている NPO 法人マリッジクラブを訪問した。

NPO 法人マリッジクラブは、結婚を希望する方への出会いの創出及び結婚に繋がる相談・情報提供などの婚活をサポートすることを目的に設立された団体で、事務所は町民活動センター（マイアミショッピングセンター3階）内にある。結婚を希望する20歳以上の独身の方やそのご家族の方を対象に、週3回（水、金、日曜日）正午から午後4時まで、電話や事前予約による対面での相談を受け付けており、お見合いパーティーや出張相談会なども企画しているとの説明があった。

説明の後、委員会から現状の確認をする質問を行った。現在の登録者については、マリッジクラブとしては20名ほどで、他にいばらき出会いサポートセンターと連携しており、そちらは男性2,400名、女性1,700名程が登録されているため、広域的な紹介を行っているとのことだった。また相談件数については、電話を含めて月に10件ほどとのことだった。

質問と併せて今後の活動などについて意見交換を行い、委員からは「イベントの開催回数を増やしてはどうか」、「ウォーキングなど阿見町を探索するようなイベントを企画してはどうか」、「今後は阿見町に定住してもらえるようなイベントを企画していただきたい」など、様々な意見があがっていた。



NPO 法人マリッジクラブ



事務所での説明・意見交換の様子

広聴広報特別委員会

議会モニター、議員カフェについての視察を実施

令和7年
6月30日・7月1日

埼玉県戸田市・
長野県長野市

議会モニターの協議の本格化や議員カフェの実施にあたり、先進地である埼玉県戸田市と長野県長野市を訪れ、視察研修を行った。

埼玉県戸田市では、平成23年度に議会モニター制度を導入し、様々な改善を行いながら制度運用を続けている。戸田市では、市域が18.19平方キロメートルと小規模で議会傍聴が容易なことなどから、議会報告会の開催に代わって議会モニター制度を導入し、様々な改善を行いながら制度運用を続けている。阿見町議会の議会モニター制度と大きくは異ならないが、議会モニターの応募資格に市内在勤者・在学者も加えていること、議会モニターの連続した任期は2期までとしていることなど、より細やかな段階での決まりを設けて運用を行っていた。課題としては、議会で求めている「議会運営に関すること」以外の意見が多いことだが、市の政策に関するものは受付をしないようにしているとのことだった。また、定員15人に対して応募が数人に留まっていることも課題だが、人数が少数でも意見はしっかり出てくるとのことだった。当委員会での協議にはなかった視点からの説明も多く、今後の調査研究を進めていくうえで大いに参考になるものだった。

長野県長野市では、「議員と話そうカフェトーク」と題して、市立長野高校・清泉女学院大学（現清泉大学）との意見交換を実施している。この取り組みが、当委員会の調査研究事項である議員カフェに類似していることから視察を行った。当委員会では、町内3中学校を対象とした「放課後議員カフェ」を企画しているが、「議会や議員を身近に感じていただく」という目的は、長野市議会でも阿見町議会でも共通しているものだった。一方で、実際の運用面では、「絶対に人の意見は否定しない」などのルールづくりや、各班にホスト議員を置いてまとめの発表を行うことなど、現在検討中の企画にはないものが見受けられた。当日は、実際に開催した様子の映像も視聴させていただき、近く開催予定の放課後議員カフェにおいても、今後の調査研究においても、大いに参考になるものだった。



戸田市での研修の様子



長野市での研修の様子

予算決算特別委員会

9月定例会における委員会の運営方針を協議

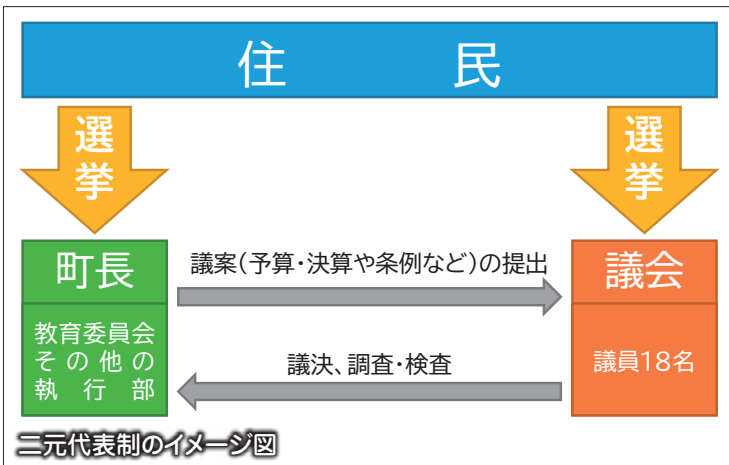
令和7年6月17日

阿見町役場

9月定例会における決算審査に当たり、予算決算特別委員会の運営方針について協議した。

委員からは様々な意見が出ましたが、協議の結果、9月定例会における決算審査に当たっては、「事前通告を実施しない」、「執行部（町長・教育委員会など）に新規事業・重点事業の説明を求める」という方針で進めることが確認された。

今後、執行部に対して説明の申し入れをするとともに、より詳細な運営方針について協議していく。



民生教育常任委員会

関係各課よりヒアリングの実施

令和7年5月15日・6月6日・6月9日

阿見町役場

民生教育常任委員会は、2年間の活動テーマを「誰一人取り残さない阿見町をつくるために」と定めて、令和7年度の調査事項を、「障がい者福祉の現状と今後のあり方について」、「老老介護や独居高齢者等、高齢者福祉の現状と対策について」、「0歳から2歳児などの待機児童、保留児童問題及び学童保育待機児童の現状と今後の推移について」とした。

上記に基づき、阿見町の現状について関係各課より3回のヒアリングを実施しました。まず5月15日には、こども家庭課及び生涯学習課より、6月6日には、社会福祉課より、6月9日には、高齢福祉課より、それぞれ説明を受け、各委員から活発な質疑を行った。6月、7月には町内にある施設や事業所の現地調査を行う予定である。



高齢福祉課ヒアリングの様子

産業建設常任委員会

農業用水管補修後の農業用水の流下状況についての視察を実施

令和7年5月1日

阿見町内

令和6年度に調査した中郷東地内の農業用水管漏水補修工事について、その後の状況を視察した。工事現場では、補修工事の付帯工事として、空気弁の設置や歩道の修繕が行われている様子を確認した。農業用水管の補修は完了し、4月24日から水揚げが行われているが、上郷地区の農業用水路が始まる大型の接続桧には、霞ヶ浦から水揚げされた水がふんだんに流れてきていた。また、農業用水路についても水量は十分で、上郷地区内の農地では、水揚げ前と異なり、多くの田に水が引き込まれていることを確認した。

この農業用水路を流れる水は、上郷地区を通り抜けた先にある桂川の源流の一つになっている。水揚げにより桂川の水量は増加していることから、桂川を農業用水の水源としている地区の農地についても視察すべきと考え、鈴木地区、若栗地区、吉原地区の農地の視察も行った。その結果、水揚げ前に比べ、鈴木地区、若栗地区では、多くの田に水が引き込まれていることを確認した。吉原地区においては、他に水源があることから、水揚げ前においても水が引き込まれている田が多く、今回の視察でも田植えの段階まで至っているところが他の地区よりも多い様子が見受けられた。



設置工事中の空気弁



農業用水路始点の大型接続桧

議会日誌

令和7年
4月～7月の
議会日誌
歩み

4月

- 15日 全員協議会
- 15日 総務常任委員会
- 15日 民生教育常任委員会
- 21日 広聴広報特別委員会
- 22日 産業建設常任委員会

5月

- 1日 産業建設常任委員会
- 1日 産業建設常任委員会視察（町内）
- 15日 民生教育常任委員会
- 19日 議会運営委員会
- 19日 広聴広報特別委員会
- 20日 富山県朝日町議会視察受け入れ
- 20日 龍ヶ崎地方衛生組合全員協議会
- 23日 全員協議会
- 23日 総務常任委員会
- 26日 議会運営委員会
- 27日 第2回臨時会本会議
- 27日 全員協議会
- 28日 産業建設常任委員会
- 30日 稲敷地方広域市町村事務組合全員協議会
- 30日 龍ヶ崎地方衛生組合臨時会

6月

- 3日 第2回定例会本会議
- 4日 第2回定例会本会議（一般質問）
- 4日 議会運営委員会

- 5日 第2回定例会本会議（一般質問）
- 5日 全員協議会
- 6日 第2回定例会本会議（一般質問）
- 6日 民生教育常任委員会
- 6日 総務常任委員会視察（町内）
- 9日 総務常任委員会
- 9日 民生教育常任委員会
- 10日 産業建設常任委員会
- 17日 第2回定例会本会議
- 17日 予算決算特別委員会
- 23日 広聴広報特別委員会
- 24日 産業建設常任委員会
- 24日 産業建設常任委員会視察（町内）
- 27日 民生教育常任委員会
- 30日 広聴広報特別委員会所管事務調査（埼玉県戸田市）

7月

- 1日 広聴広報特別委員会所管事務調査（長野県長野市）
- 2日 議会だより編集委員会
- 3日 稲敷地方広域市町村圏事務組合臨時会
- 7～9日 稲敷地方広域市町村圏事務組合視察研修
- 8日 議会だより編集委員会
- 11日 広聴広報特別委員会
- 15日 全員協議会
- 15日 民生教育常任委員会視察（町内）

進・議・帯

進め議会！
進め議会！
進め議会！

議会活動

Until July
2025

議会が一丸となって二元代表制の一翼を担うべく、町政運営の調査・監視及び評価を行い、政策の立案・提言を行っています。
議会改革が進み、マニフェスト大賞での優秀躍進賞の受賞など成果が出てきたことから、議会改革の視察受け入れが増えています。



富山県朝日町議会が来庁

令和7年5月20日 阿見町役場



富山県朝日町議会から総務産業常任委員会の委員4名と、事務局1名の合計5名が来庁され、議会報告会・議員モニター制度について視察された。

当議会からは議長、広聴広報特別委員会の正副委員長が出席し、議会報告会・議員モニター制度について紹介した。

その後の質疑応答では、議会報告会の周知方法や議会モニターのご意見のとりまとめなどについて様々な質問をいただき、それらに対する回答を通じて、それぞれの議会の広報・広聴についての意見交換が行われ、充実した研修となった。

特産品
ヒスイ



朝日町議会の皆さま

予告『あみ議会報告会＆交流会』
令和7年11月9日(日)開催決定！



昨年、初めて議場で開催して大盛況だった『あみ議会報告会＆交流会』を今年も開催します。
詳しくは、9月26日（金）発行の広報あみ（10月号通常版）に掲載予定です。そのほか最新の情報は、町議会のホームページで更新していきますので、この記事のQRコードからご確認ください。

まちびと インタビュー



自宅裏山の竹林で自由時間



パン食い競争開催の様子



ビニールハウス内での茶話会



今回は阿見町社会福祉協議会ふれあい・いきいきサロン登録団体である『自然保育自由に遊び隊』様を訪れ、自然に囲まれた里山で竹林の清々しさを感じながら代表の平岡典子様にインタビューさせていただきました。

Q まず、団体の名称と、その由来を教えてください。

A 『自然保育 自由に遊び隊』です。

保育園なの？と思う方もいらっしゃると思いますが違っています。私を含めた子育て真っ最中のママ同士で立ち上げた自主保育的なボランティア活動なんです。

Q なぜこの活動を立ち上げようと思ったのでしょうか。

A 私は今も保育園で働いているのですが、コロナ禍の時から『もっと子どもたちが規制なく自由に遊べるようにできたらいいの』と思ったのと同時に、自分の娘（現在小1）が年中だった頃『この子が不登校になったらどうしよう』と考えたのがきっかけです。阿見町はフリースクールがまだないし、働けなくなったら困ると思いました。

活動を起こす前にいるんな人の話を聞いてみたり、自分のイメージに合う保育園やプレパーク等に遊びに行ってみたりした結果、これは自宅で行うのでは？と気づきました。

自然保育の自然とは、自宅が自然に恵まれていること、ここに遊びに来てくれる人たちが自然体でいられることの意味があります。私は後者を大事にしたいと思っています。

Q なぜ必要とする方がいると思ったのでしょうか。

A 私が必要としているからという事と、最初の質問と被るのですが、同じ境遇で悩んでいる人が絶対にいると思うからです。またワンオペ育児をされている方もいるはずで、私の夫も土日仕事なものですから、ワンオペでありお金を使いたくないけど誰か大人同士で話したい時に、自宅を開放すれば遊びに来てくれる人がいるんじゃないかと思っていました。

実際その通りで、私と同じ悩みを抱えている人たちが思ったより多く、他の園や学校の情報交換をすることで、子どもたちも我々親も、交友関係を広げることができました。

Q この活動はどの程度の参加メンバー（利用者）がいっていますか。

A 現在遊び隊のメンバーは10人になりました。平日は月金のみ開催してるのですが平日は私も仕事をしてるので、出られる人だけでシフトみたいなのを組んで、ゲストを迎えています。月一回程度イベントも行のですが10組以上の親子が参加してくれています。阿見町だけでなく隣の市町村からも遊びに来てくださるのありがたいです。

Q 阿見町議会に一言お願いいたします。

A 我々阿見町の住民が過ごしやすいように、たくさん議論して色々な対策を実行してもらえたら嬉しいです。その為には私達もどんなふうにしたら過ごしやすいかを、議員さん達に提案していくようにし、みんなの個性が輝く阿見町になると嬉しいです。

Q 最後に一言お願いします。

A 人生一度きり、一歩踏み出して自分のやりたいことをやりましょう！

編集後記

暑い日が続きますが阿見町の皆様はいかがお過ごしでしょうか。あみ議会だより「あみ〜」の編集委員として、諸先輩方が築き上げて来られたものを更にブラッシュアップし、多くの阿見町の方々に手に取って頂けるように！ご覧いただけるように！しっかり取材してまいりました。

今号は阿見町の人口躍進を担う子育て世代ママたちが立ち上げた、子育て支援ボランティア団体を取材してまいりましたので、ぜひご覧ください。

今後も阿見町の皆様のニーズをつかみ、そのニーズに対応して行けるように、しっかりと紙面を構築してまいりますので、今後ともあみ議会だより「あみ〜」を応援よろしく願いいたします。

武藤 次男

次回定例会

9月9日(火)

本会議、議会運営委員会、常任委員会、特別委員会、全員協議会は傍聴できます。

本会議は役場1階ロビーのテレビでもご覧いただけます。

議会だより 編集委員会

【委員長】

石 引 大 介

【副委員長】

栗 田 敏 昌

【委員】

落 合 剛

武 藤 次 男

武 井 浩 聡

寛 田